

「滋賀県の水環境を考えるセミナー」

龍谷大学と滋賀県中小企業家同友会では、滋賀県（琵琶湖）の水環境に焦点をあて、大学の研究シーズや企業の技術等を用いて、その連携から生まれる新ビジネス、新技術の創造を模索します。地域循環型の新しい仕事づくりを考える企業の皆様に、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

【第1回】

「難しいとされる生活排水の循環処理に取り組む ～未来のエコ住宅に新たな提言～」

講師：龍谷大学 理工学部 環境ソリューション工学科 教授 岸本 直之

日時：平成20年7月29日(火) 16:00～18:00 セミナー（60分）と個別相談を開催

場所：瀬田学舎 RECホール 1階 小ホール

水の再利用は、工場や大規模な事業所ではすでに普及しつつあり、公共下水道等でも普及の努力が続けられています。家庭の生活排水は比較的再利用の取り組みが遅れており、家庭における水利用量の割合は、風呂が1/4～1/3、トイレが1/5～1/4、洗濯が約1/5、あとが炊事や雑用水となっています。そのなかで汚れが少ない風呂水と洗面排水を再利用すると30%程度の再利用率を達成することができます。

この実現には「エコ住宅」の発想が重要で、エネルギー消費を軽減するソーラーパネルや断熱効果の高い材質等を用いた提案と同様に、水環境への配慮が必要です。

本セミナーでは、生活排水の再利用について、その可能性を提案し、協力企業との連携を模索します。

【第2回】(予告)

「化学物質による水環境汚染の現状について」

講師：龍谷大学 理工学部 環境ソリューション工学科 助教 浅野 昌弘

日時：平成20年9月17日(水) 16:00～18:00 セミナー（60分）と個別相談を開催

場所：瀬田学舎 RECホール 1階 小ホール

化学物質とは、元素または化合物に化学反応を起こさせることにより得られる「化合物」のことを言います。世界中には、この化学物質が天然・人工由来のものを含めて約9100万種類あり、このうち商業目的に用いられているものは約1450万種類にのぼります。では、この中のどの様な化学物質が環境問題を引き起こす可能性があるのか？また、これらの化学物質をどういった方法で管理すれば良いのか？

本セミナーでは、現行の法律規制や環境汚染の現状を学び、産官学連携で研究されている下水の高度処理技術などの事例を紹介します。

参加費：無 料

主催 龍谷大学 REC BIZ-NET、滋賀県中小企業家同友会 新産業創造委員会

参加申込みは FAX または E-mail にて、必要事項（会社名、住所、TEL、E-mail アドレス、参加者の役職、氏名）を記入の上、下記のどちらかまでご連絡をお願い致します。

◆滋賀県中小企業家同友会 事務局 草津市草津町 1512

TEL 077 (561) 5333 FAX 077 (561) 5334

E-mail info@shiga.doyu.jp

◆龍谷大学 龍谷エクステンションセンター（担当：曾我部）

TEL 077 (544) 7279 FAX 077 (543) 7771

E-mail rec@ad.ryukoku.ac.jp

